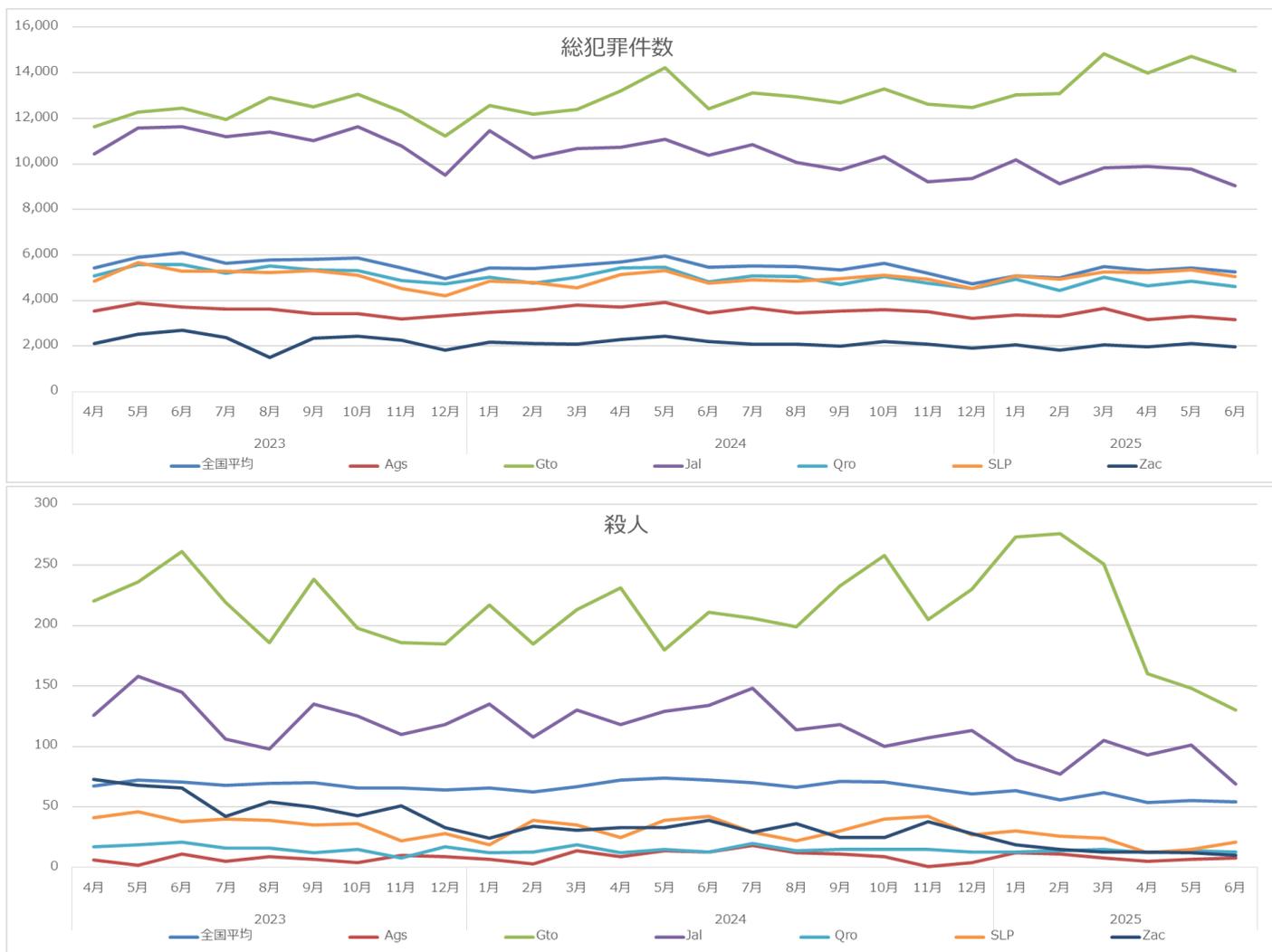


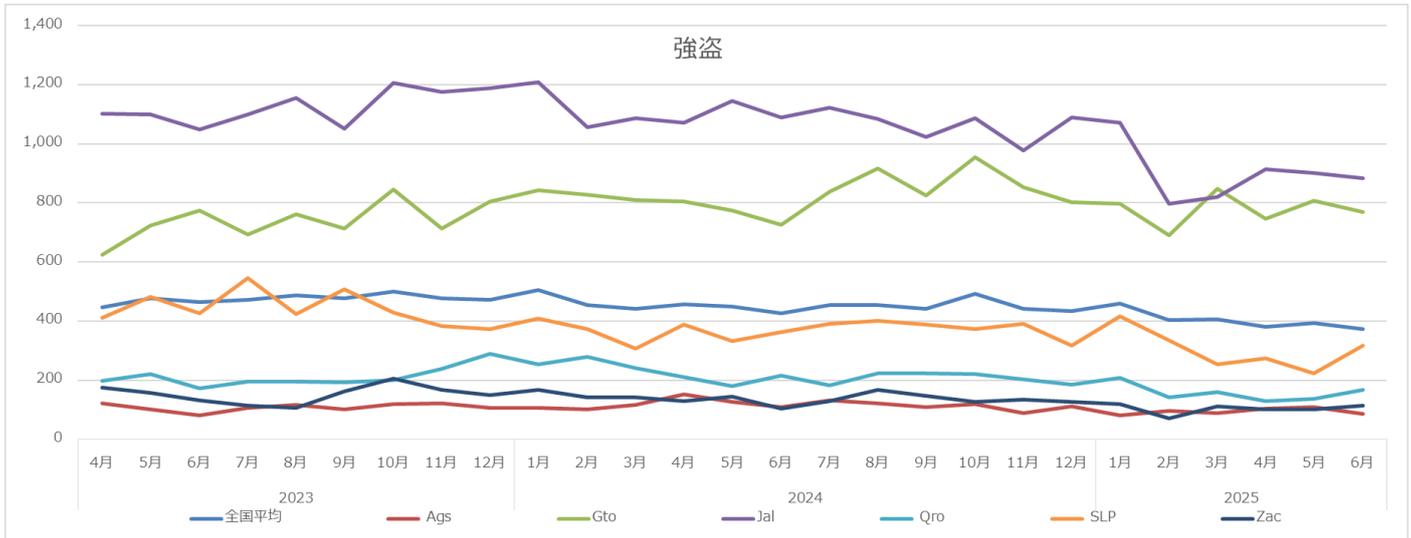
1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数の麻薬カルテルが存在しており、殺人の多くは麻薬カルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、殺人が最も多く発生している州であり、2024年は2,568件で全国1位でした。近年ではCSRLは弱体化していると言われておりますが、CJNGがCSRLの支配地を奪おうとして抗争が活発化している地区もあり、抗争はしばらく続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれる可能性があるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

グアナファト州では特にセラヤ市からアパセオ・エル・グランデ市周辺の連邦高速道路45D号線で、車両強盗事件が多発していましたが、最近では幹線道路45号線でも車両強盗が発生しており、邦人も被害に遭っているほか、レオン市など邦人が多く在住する都市においても殺人事件が増加しているとの報道もあります。

メキシコではいずれの州においてもカルテルが活動しており、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件などが発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数(4月～6月)40,979件

殺人の件数はここ数年増加傾向にあり、引き続きカルテルによる事件は継続すると考えられます。当地報道によると、6月にイラプアト市内では一度に12人が殺害される事件が発生しております。また、強盗被害も依然として多く発生しており、都市間の移動は時間帯など考慮して運行計画を立てる事も重要ですが、通勤時間帯に車両強盗被害に遭う事件も継続して発生しており、一般的な対策だけでは防ぐことができません。更に、同地域では幹線及び高速道路上(特に幹線道路45号及び高速道路45D号線)で強盗被害が発生しており、本年6月までに発生した邦人被害は2件(当館へ報告いただいた被害のみ)。被害者の国籍に関係無く、SUVタイプ、ピックアップタイプの車両が狙われやすい傾向にあります。

走行中の車両に犯人車両が並走し銃器で脅して車両を強奪する事件や、被害者が一時的に犯人車両に監禁される事件、さらには強盗目的で歩道橋から投石し、車両を強制的に停車させるような手口による事件が日中・夜間関係無く発生しています。万が一同被害に遭ってしまった場合は、相手を刺激せず命を守るような行動をとって下さい。

・邦人被害(4月～6月)3件(住居侵入被害1件、強盗被害1件、車上ねらい被害1件)

●住居侵入被害

5月14日21時頃、邦人男性が帰宅したところ、窓が割れており、家の中が荒らされていたことを確認したため、警察へ通報。自宅に設置していた防犯カメラの録画映像を確認したところ、犯人は男性4人組であった。被害は自宅に保管していた現金及びゲーム機のみであった。

→ 帰宅した際、侵入形跡を発見したらまずは警察に通報してください。警察が到着するまで、犯人が自宅内に潜んでいる可能性もあるため中に入らないようにしてください。

●強盗被害

6月2日18時10分頃、邦人男性2名(出張者)及びメキシコ人運転手の計3名がSUVタイプの車でグアナファト州セラヤ市からレオン市へ向かうため幹線道路45号線を走行中、ビジャグラン市付近の陸橋で、後方から来たグレーのSUV車両に追い越され、乗車していた犯人4人組から銃のようなものを向けられ、邦人男性たちの乗車する車両を停車するよう指示された。停車したその場で邦人男性たちは車両から降ろされ、犯人たちは車両を奪い逃走した。邦人男性達が乗車していた車両には邦人男性2名の携帯電話、パスポート、パソコン及び現金等が入ったリュックサックが置かれていた。邦人男性たちは車両から降ろされた場所から幹線道路45号線沿いをおよそ100m歩いたところで、偶然通行していた巡回中のパトカーに保護された。

→ 強盗に遭った際は、抵抗することなく犯人の要求に応じ、犯人を見つめたり、追いかけたりする等、犯人

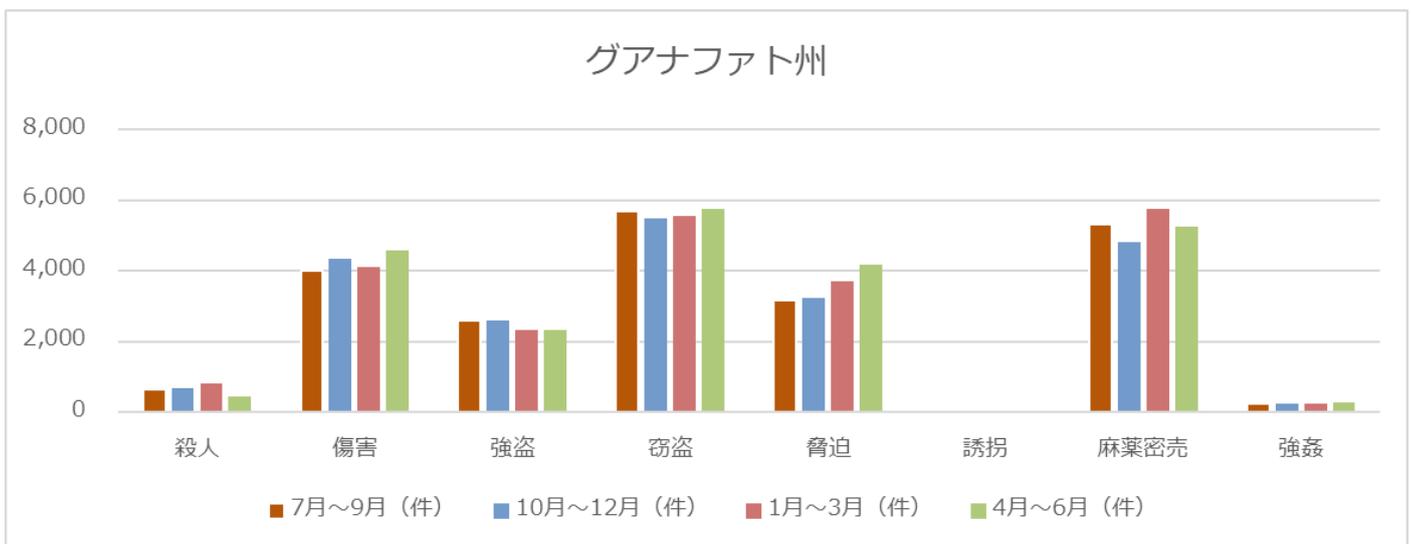
を刺激するような言動は避けて下さい。(強盗被害に遭遇した際、犯人を刺激することで、生命・身体に危害を加えられるリスクが高まります。一般的に、無抵抗で金品を差し出した場合、そのリスクは低くなると言われておりますので、気持ちを落ち着かせて犯人の指示に従ってください。)

●車上荒し被害

6月23日19時30分頃、邦人男性(企業駐在員)とその配偶者がイラブアト市・アバソロ市間幹線道路110号線沿いの薬局(インデペンデンシア通りとマリアノ・アバソロ通りの間)へ車で出かけ、薬局の駐車場に駐車。配偶者は薬を買いに薬局に入り、邦人男性は車から少し離れた場所で配偶者の帰りを待っていた。その際にガラスが割れた音がしたため、邦人男性が自分の車に目を向けたところ、バイクに乗った男を発見し、もう一人の男が邦人男性の車の助手席側窓ガラスを割り、助手席シート下に置いていた配偶者の(サングラス、薬、自宅の鍵が入った)バックを持ち出していた。邦人男性はとっさにバイクに乗った男に飛びかかったところ、ガラスを割っていた男がバイクに乗った男に加勢し、所持していたナイフで邦人男性の左手甲を複数回切りつけた後、右腹部と右足首付近を蹴り、邦人男性を車道へ転倒させ、バイクで逃走した。20時頃、周りにいた買物客が警察に通報し、おおよそ20分後に警察が到着した。

→ メキシコでは時間・場所を問わず車上狙いが発生しております。僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛けて、バッグ等の荷物や貴重品は車内に残さずに必ず携行してください。また、僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛けて、パソコンやスマートホン、パスポートなどの貴重品やバッグは、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不必要なものは、なるべく持ち出さないようにしてください。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	638	693	800	438
傷害	4,020	4,328	4,106	4,574
強盗	2,578	2,610	2,336	2,323
窃盗	5,704	5,470	5,542	5,755
脅迫	3,163	3,226	3,702	4,162
誘拐	3	0	1	4
麻薬密売	5,333	4,821	5,771	5,243
強姦	223	227	241	262



(2) アグアスカリエンテス州

・人口約142万人 犯罪認知総数(4月～6月)10,342件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率(人口の割合)では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市内で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する場

所は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底して下さい。

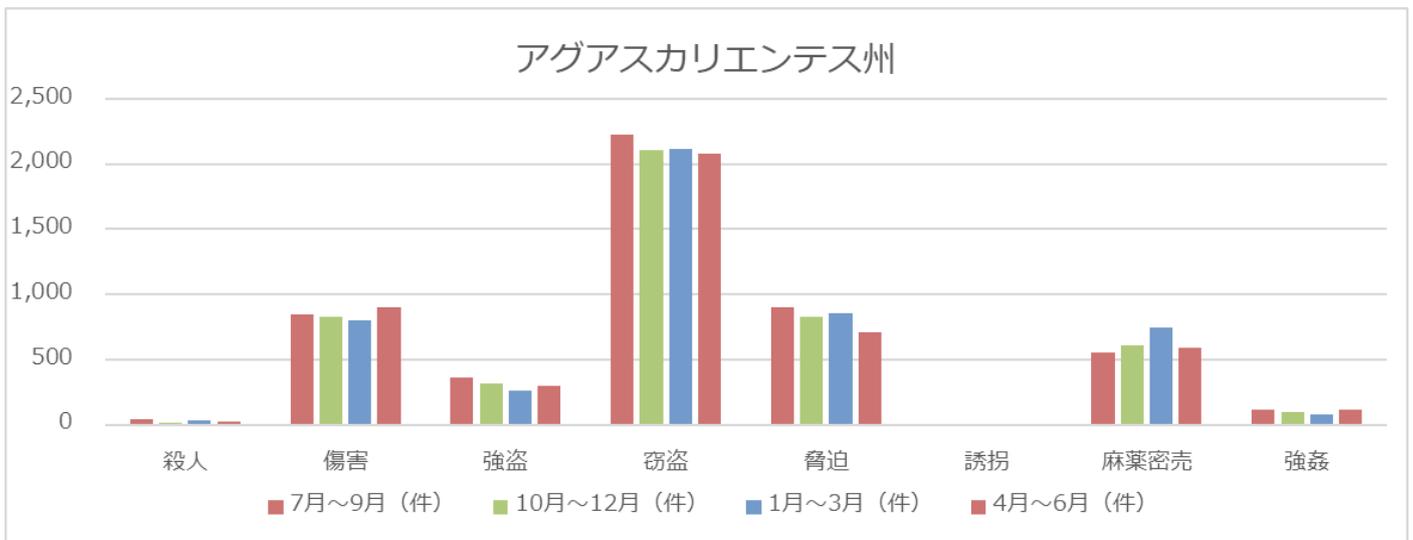
・邦人被害（4月～6月）1件（車上ねらい被害1件）

●車上荒し被害

5月23日21時頃、邦人男性が買物のため店舗付近の裏側の街灯のない路地に駐車。20分ほど買物をして車両へ戻ったところ、車両右側後部の窓ガラスが割られており、車内に置いていたリュック及びジャケットが盗難されていた。リュックにはパソコンと自宅の鍵が入っていた。

→ 車上荒しに遭わないためにも路上駐車はせず、公共の駐車場を利用してください。路上駐車となることが事前に分かった場合は、自家用車を利用せず、配車アプリ等の利用を検討してください。また、僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛けて、パソコンやスマートホン、パスポートなどの貴重品やバッグは、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不必要なものは、なるべく持たないようにしてください。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	41	14	31	20
傷害	847	827	799	897
強盗	360	318	265	300
窃盗	2,224	2,109	2,115	2,079
脅迫	902	826	857	710
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	551	605	742	591
強姦	119	99	83	112



(3) ハリスコ州

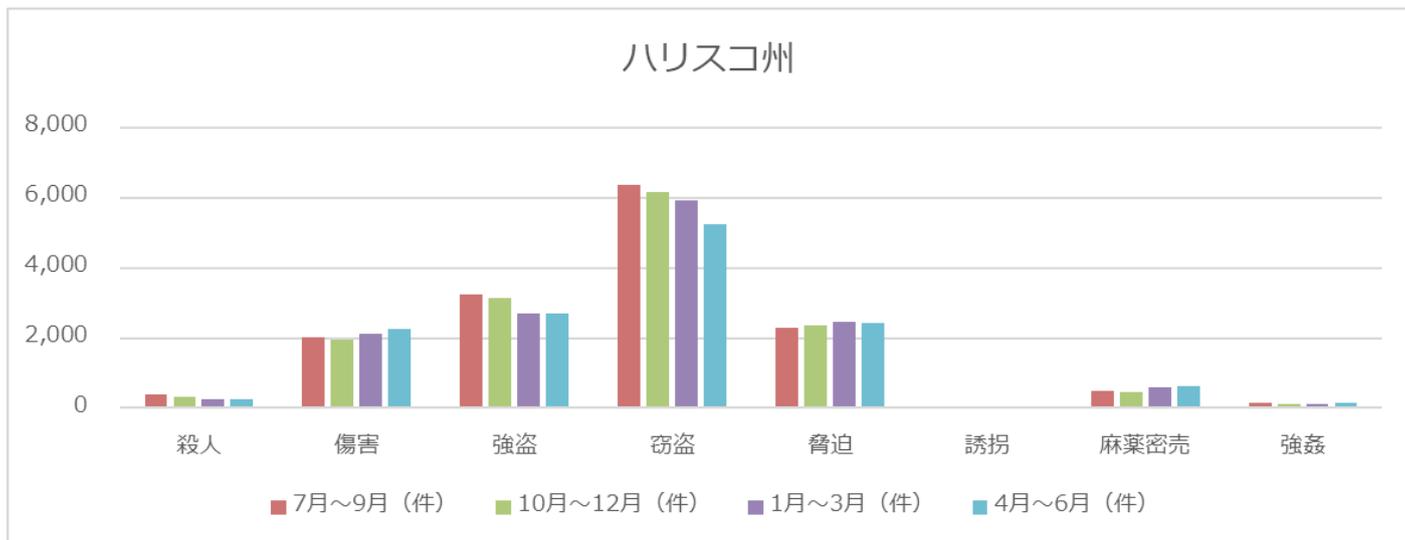
・人口約834万人 犯罪認知総数（4月～6月）29,163件

窃盗及び強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く、注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。旅行者、出張者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害（4月～6月）0件

4月～6月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	380	320	271	263
傷害	2,029	1,942	2,108	2,248
強盗	3,230	3,151	2,688	2,698
窃盗	6,346	6,149	5,934	5,257
脅迫	2,301	2,349	2,460	2,434
誘拐	2	3	3	3
麻薬密売	477	457	591	620
強姦	142	133	122	147



(4) ケレタロ州

・人口約236万人 犯罪認知総数(4月～6月) 14,385件

殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市内で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安が不安定であり、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路や幹線道路など多車線道路を利用して下さい。

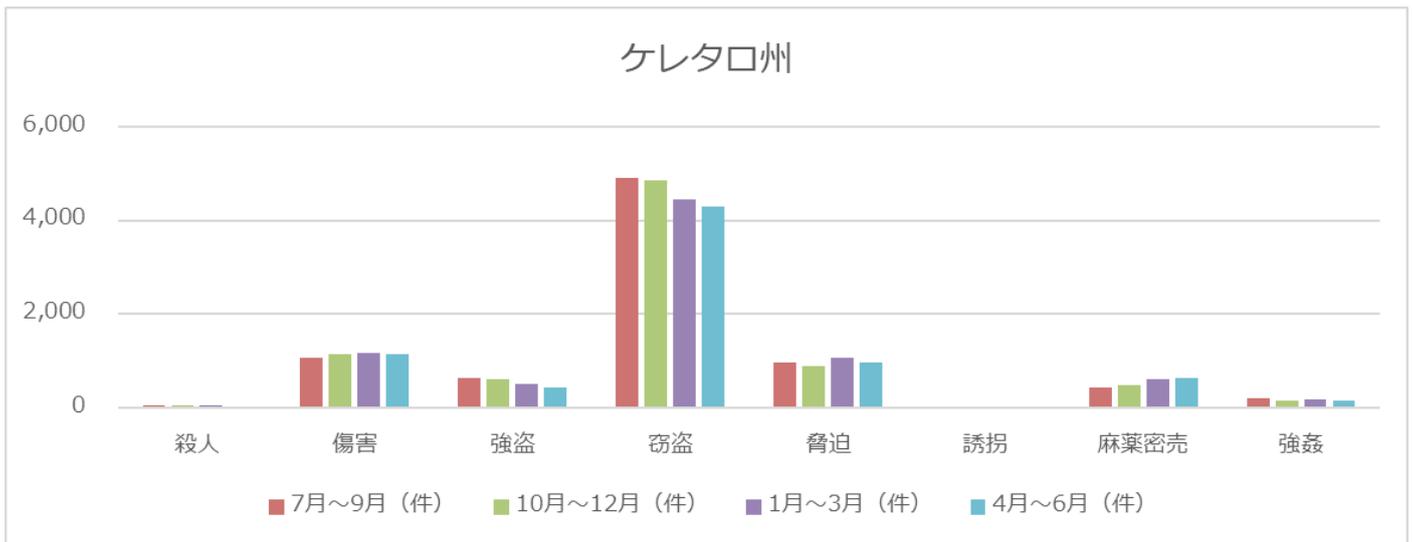
・邦人被害(4月～6月) 1件(詐欺被害1件)

●詐欺被害

6月13日から15日にかけて、邦人女性(永住者)宛てに銀行職員を名乗る女性から携帯に複数回電話があり、「あなたのクレジットカードが不正利用されたため、その請求のキャンセル手続きを行う必要がある」という内容が伝えられた。被害者は、その電話の発信元の番号が銀行の公式カスタマーサービスのものであったこと、女性が被害者の氏名を知っていたこと、またキャンセル手続きの進行状況に関するショートメッセージ(SMS)が公式銀行名で逐次送られてきたことから、女性を信用し、自身の銀行アプリにログインし電話で指示された内容の通りに、口座履歴の確認や、ネットキー(一時的なパスワード)を使用し指定された金額を入力するなどの操作を行った。その後、15日(日)の夜に被害者が自宅のPCから自身の銀行口座にログインしたところ、残高が0ペソになっていることに気付き、これが詐欺であったことを認識した。

→ 犯人は言葉巧みに様々な情報を引き出そうとしてきます。個人情報や口座情報などを聞かれた場合は絶対に教えないで下さい。不審な電話は一度切って、気持ちを落ち着かせた後、銀行に直接問い合わせするなどして下さい。また、オンラインでの手続に不安がある場合は、各種銀行手続は窓口で行うことも検討して下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	49	43	42	39
傷害	1,057	1,134	1,179	1,147
強盗	629	606	508	431
窃盗	4,916	4,845	4,450	4,302
脅迫	956	897	1,061	963
誘拐	2	1	0	0
麻薬密売	435	483	610	632
強姦	198	149	170	142



(5) サンルイスポトシ州

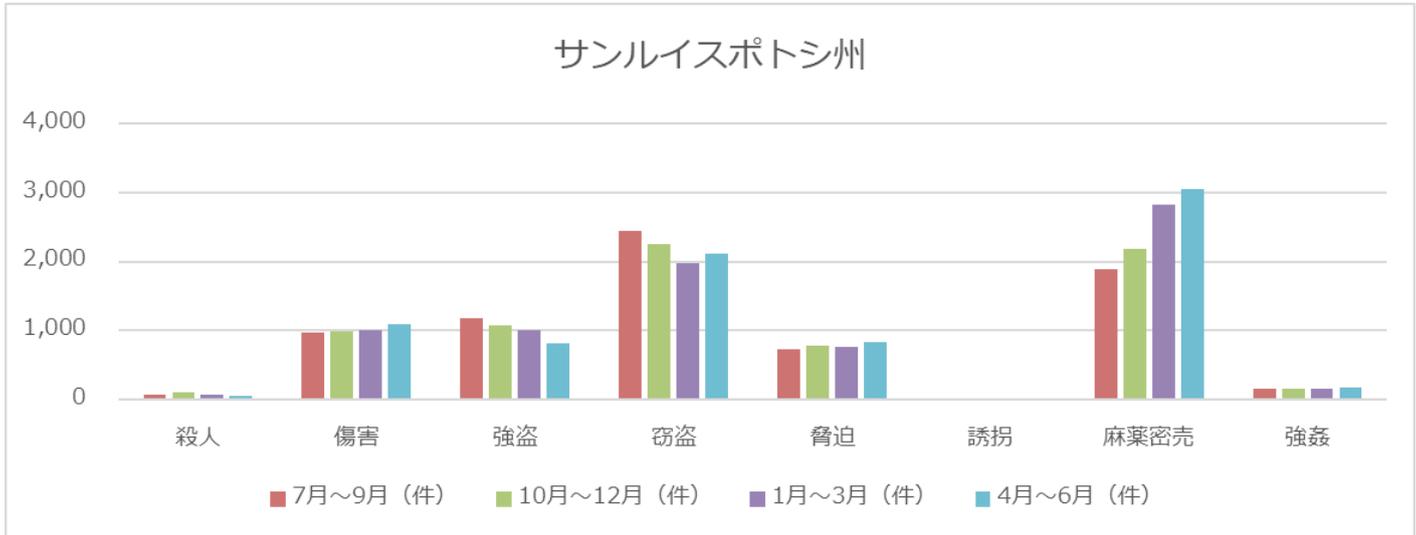
・人口約282万人 犯罪認知総数(4月～6月)15,263件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率(一定人口当たりの割合)も高くなっています。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安が悪化する傾向にあります。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件も多発しておりますので、十分注意をして下さい。

・邦人被害(4月～6月)0件

4月～6月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	81	109	80	48
傷害	972	998	1,005	1,093
強盗	1,179	1,079	1,005	812
窃盗	2,442	2,258	1,971	2,109
脅迫	736	782	759	829
誘拐	2	0	1	1
麻薬密売	1,891	2,180	2,820	3,047
強姦	153	159	161	171



(6) サカテカス州

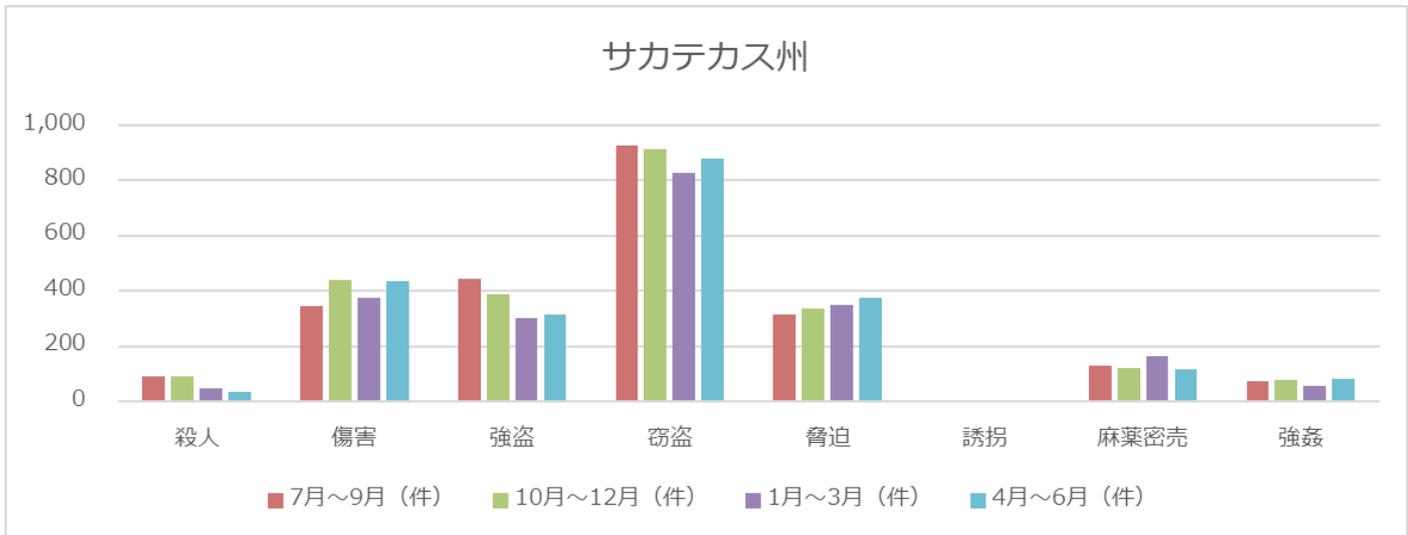
・人口約 1 6 2 万人 犯罪認知総数 (4 月～6 月) 5, 9 4 6 件

殺人の発生率 (一定人口当たりの割合) は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われていますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害 (4 月～6 月) 0 件

4 月～6 月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7 月～9 月 (件)	10 月～12 月 (件)	1 月～3 月 (件)	4 月～6 月 (件)
殺人	90	91	47	35
傷害	345	442	374	436
強盗	445	388	301	316
窃盗	926	912	829	879
脅迫	314	336	351	377
誘拐	2	3	1	1
麻薬密売	129	123	162	115
強姦	75	80	58	82



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した銃撃事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りを極力避けるとともに、違法薬物には一切関わらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、銃撃事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の状況に注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域の通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる殺傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車両関連の犯罪被害が引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地域内では、車両関連の犯罪被害や連邦高速道路45D号線上の強盗被害が目立ちます。連邦高速道路45D号線を利用する際は、可能な限り日中移動と複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社に事前に伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナファト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討下さい。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高いため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。犯人から解放されたら、周囲に助けを求め、911番（警察、消防、救急への緊急通報番号）に通報するとともに、検察局に被害届けを提出して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、検察局（Fiscalía General）に被害届けを提出して下さい。被害届けを提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様にご注意喚起することができます。また、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができますので、ご協力をお願い致します。

5 バヒオ地域以外における日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載していますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上